

最終アウトカム(住民のあるべき姿)

地域とつながりをもちながら、住民が望む人生を送ることができる

【看取り】本人が望む看取りを、地域で実現する体制を整える

1. 本人の看取りの意志を関係者で共有できる
2. 看取りの体制に関する課題を共有し、解決策を見出す
3. 住民が看取りについて理解を深める

1. 在宅医療・介護連携推進事業 これからの「いきかた」を考える講演会(合同)

目的:市民・医療介護関係者が、人生の最期をどのように迎えたいか、共に考える機会とする。

そして、最終アウトカム「地域とつながりを持ちながら住民が望む人生をおくることができる」に向けて、自分ができることを考えることができる。

日程:7月29日(土)午後1時~4時

対象:4市町の市町民と医療介護事業所の関係職員

2. 各地区における看取りを支える事例検討会

目的:看取り期に関わる介護支援専門員やケア関係者が経験した事例を学び、今後の支援に役立てることができる。

日程:日常生活圏域4か所で、1回ずつ開催

対象:介護支援専門員、ケア関係者、医療機関の関係者に周知

内容:看取り期の事例検討

担当包括の主任介護支援専門員と相談して実施

3. 出前講座「在宅医療と人生会議」

目的:①地域住民が在宅医療や介護について理解し、在宅での療養が必要になった時に必要なサービスを選択できるようにする。また、地域住民が人生の最終段階におけるケアの在り方や在宅での看取りについて理解する。

②地域のサロン等に参加していない方や、実施していない地域の市民にとっても、在宅医療や人生会議を考える機会とし、これからの人生について1人1人考えることができる。

対象:市民

日程:日常生活圏域4か所で、1回ずつ開催

内容:在宅医療と人生会議

時間:1回の講座を90分程度で開催